

石川県警察本部少年サポートセンターとの連携による少年立ち直り支援活動

団体名 ● 池田ゼミナール、中尾ゼミナール

代表者名 ● 池田 幸應(人間科学部スポーツ学科・教授)・中尾真和(経済学部経済学科・准教授)

はじめに

少年たちの非行については、件数的には減少傾向ではあるが、犯罪の低年齢化、凶悪化が一層進み深刻化しており、「地域の少年は、地域で育てる」という意識をもって、少年の健全育成に対して地域ぐるみでの取り組みが重要である。これまで、本学人間科学部スポーツ学科池田ゼミナールは、10年間、石川県警察本部「少年サポートセンター」と連携・協働し、継続的に非行少年の立ち直り支援活動を行ってきた。2019年度より、池田ゼミナールに加え、経済学部の中尾ゼミナールとも連携の環を広め、協働で活動を継続、発展させてきている。

活動内容

本年度における直り支援活動として、昨年度に引き続き、金沢市内「あすなる農園」での農業体験や公民館での案山子づくり活動での少年たちの活動支援及び交流活動を実施した。また「いぬわしくんの非行防止教室」として、学生たちが非行防止動画制作に際し、配役を決めてシナリオをベースに声の吹き替えと紙人形を動かす役を務め、TwitterとYouTube 石川県警公式チャンネルにアップされ非行防止情報として配信された。主な活動は、以下のとおりである。

①農業体験サポート

・5/21(土)午前中、夏野菜とサツマイモの苗植え〔あすなる農園〕、
・6/25(土)午前中、かかし作り〔無量寺町会館〕、
・7/16(土)午前中、じゃがいもの収穫及びカレーライス試食〔あすなる農園及び無量寺町会館〕、
・10/22(土)午前中、さつまいもの収穫〔あすなる農園〕

②少年への学習支援活動

・4月～7月、学習支援〔少年サポートサブセンター(金沢市平和町)〕

③「いぬわしくんの非行防止教室」への参画

・12/13(火)午後、「いぬわしくんの非行防止教室」としての非行防止動画制作〔石川県警察本部会議室〕



少年立ち直り支援に対する感謝状授与

成果、結果の考察

学生たちは、これから次世代を担うべき年齢層であり、また、現在の社会状況では、学生自身にとっても「犯罪」は決して遠い存在ではない。日頃、学生自身が非行少年に接し、その更生活動に参画することは殆んど無く、このような少年立ち直り支援ボランティア活動は、少年やその保護者、サポートセンター関係者にとって、支援となっているばかりではなく、学生自身の成長にも繋がっているものと推測される。参画学生にとっては、犯罪に対する抑止意識や子どもたちへの健全育成への関わり意識が向上しており、実際に本活動に参画した池田ゼミナールOBの多くが現在警察官として地域社会で活躍している。なお、これまでの活動に対して、2023年2月14日に石川県警察本部生活安全部長より感謝状が授与された。

今後の課題、展望

今後、学生の参画を促し、より多くの視点を有する他大学の学生や高校生等とも協働で取り組むことで、サポートの輪がさらに広がって行くことを期待したい。

なお、次年度からは、池田ゼミナールが無くなるため、中尾ゼミナールが中心となり活動継続して行く予定である。